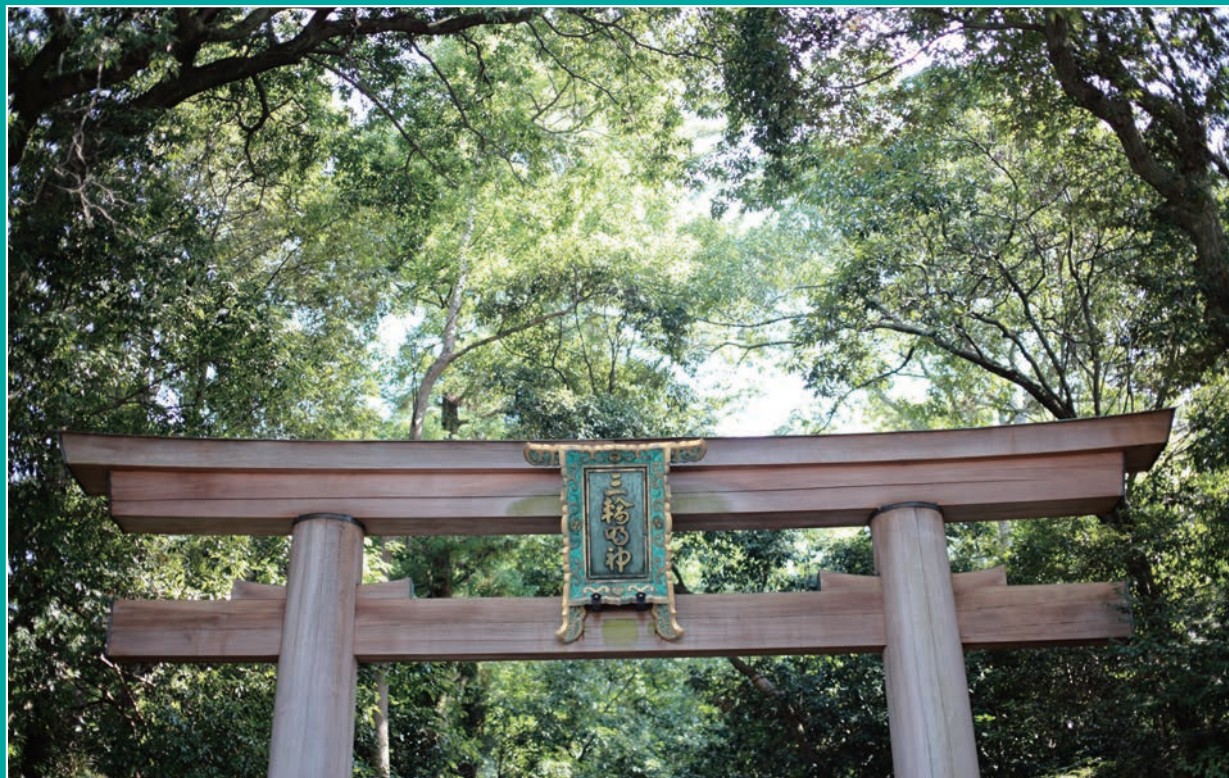


古事記完成1300年／展覧会

やまとひと

～神話に出会う旅～

取材・文・編集／藤本智士(Re:S) 写真／濱田英明 絵／権田直博 会場演出／島村昌志・戸口淳



山と人の写真とことば。
大和人と旅人が出会い、
生まれる小さな神話たち。

2012.12.4〔火〕ー12.27〔木〕

奈良県立図書館2階メインエントランス

奈良市大安寺西1-1000 | 0742-34-2111 | <http://www.library.pref.nara.jp>

入場無料 主催:奈良県立図書館 協力:Re:S(リズ)



関連トークイベント

「出雲と大和と写真とことば」開催!

佐野史郎(俳優)×藤本智士

12/16(日)14:30 入場無料(要事前申込)



俳優の佐野史郎さんや、小説家の柴崎友香さんらとともに立ち上げた写真部「りす写友会」。一枚の写真が「のこっていく」ということと、神話が語り継がれるということは、本質的に変わらないのだと感じた僕たちは、＜写真＝神話＞をテーマに『しゃしんわ』という展覧会を島根県立美術館で開催しました。

そのために訪れた出雲の地で、僕は神話の面白さに惹かれていきます。そこから足繁く出雲に通いはじめましたが、そのファンタジックなリアルに圧倒される一方で、僕の興味が無闇に膨らんだのが、奈良の神々のことでした。島根に限らず、日本中を旅しながら書籍をつくるのが僕の仕事ですが、なぜかこれまで奈良を目的として旅することがほとんどありませんでした。しかし、いよいよその時が来たのだと感じています。

古事記が編纂されたこの奈良の地で、その職を受け継ぐものとして、僕は僕なりの神話をここに紡いでみたいと思います。そんな僕が最初に向かったのは、大神神社でした……。

——藤本智士

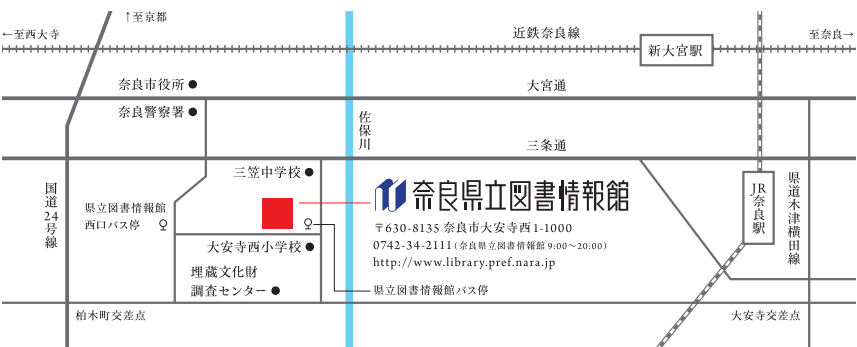
古事記完成1300年 **やまとひと** ～神話に出会う旅～

奈良を旅しながら、神々と出会う。
山と人のあたらしいものがたりを綴る、写真とことばの展覧会。

2012年12月4日〔火〕-27日〔木〕

奈良県立図書情報館 2階メインエントランス (入場無料)

主催:奈良県立図書情報館 協力:Re:S(りす)



交通アクセス ○近鉄奈良駅より|奈良交通バス停(8番のりば)から「県立図書情報館行き(22系統)」に乗りし、終点。所要時間約20分。○JR奈良駅より|奈良交通バス停(10番のりば)から「県立図書情報館行き(22系統)」に乗りし、終点。所要時間約15分。○近鉄新大宮駅より|駅南口バス停から「四条大路南町行き(8系統)」に乗りし、県立図書情報館西口下車。徒歩5分。所要時間約15分。○自家用車利用|国道24号線の柏木交差点を東に折れ、1つ目の信号を左折。約700メートル先の左側。駐車スペース:普通車311台。1時間までは無料、それ以降は1時間毎に100円。

関連トークイベント

「出雲と大和と写真とことば」

佐野史郎(俳優)×藤本智士

12月16日(日)14:30-16:00

奈良県立図書情報館 2階メインエントランス

入場無料/定員100名 ※事前にお申し込みください

お申込み方法

以下のいずれかの方法で必要情報をお送りください。

◎ホームページ申込みフォーム:

http://www.library.pref.nara.jp/event/event_moushikomi.html

◎メール:wsts@library.pref.nara.jp ◎FAX:0742-34-2777

◎来館申込み:2階貸し出し返却カウンター

必要情報

①郵便番号・住所 ②お名前(ふりがな) ③年代 ④電話・FAX

※個人情報には責任をもって管理し、無断使用や第三者に提供することはありません。



佐野史郎(さのしろう)/俳優

1955年島根県出身。劇団シェークスピアシアター、劇団状況劇場を経て、86年『夢みるように眠りたい』で映画主演デビュー。その後、TVドラマ『ずっとあなたが好きだった』(92)の冬彦さん役で注目を浴び、舞台・映画・TVとジャンルを問わず活躍。小説・エッセイ・音楽・朗読・写真など幅広い活動を続けている。主な舞台出演作に『月ノ光』(95)、『マダラ姫』(04)など。TVでは『青い鳥』(97)『アイシテル〜海容〜』(09)『坂の上の雲』(09-11)など。映画では『太陽』(06)『はやぶさ/HAYABUSA』(11)『千年の愉楽』(13)など多くの作品がある。



藤本智士(ふじもとさとし)/編集者・ライター

<http://re-s.co.jp>

1974年兵庫県生まれ。雑誌『Re:S』編集長を経て、現在、秋田からニッポンのふつうを考えるマガジン『のんびり』の編集長を務める。写真アルバムの大切さを伝えるべく開催した『ALBUM EXPO』、3人のデザイナーとの旅の記録を展示化した『Re:SCOVER NIPPON DESIGN』(六本木ミッドタウン)の展覧会プロデュースのほか、ジャーナリスト事務所の嵐による『ニッポンの嵐』の編集、原稿執筆を手がけるなどで話題に。近著に『ほんとうのニッポンに出会う旅』(リトルモア)。イラストレーターの福田利之氏との共著『BabyBook』(コクヨS&T)。

濱田英明(はまだひであき)/写真家/<http://hamadahideaki.com>

1977年兵庫県生まれ。写真家。自身の家族写真シリーズ「Haru and Mina」をはじめ、モノクロ銀塩フィルムで写真をのこす「りす写真館」の撮影などでも活動中。2012年12月に台湾で、2013年1月にはシンガポールで展覧会を開催予定。

権田直博(ごんだなおひろ)/絵描き/www.gondanaohiro.com

1981年大阪府生まれ。中卒ながら独学で絵を描きつけ、各地で個展を開催。『ニッポンの嵐』の表紙の富士山の元絵をはじめ、さまざまな書籍の装丁や雑誌などで活躍中。ライフワークの「西郷隆盛画が上手くなるまで」と、ミニチュア銭湯「風呂ンティア」が話題に。